

## 平成29年9月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日 時：平成29年9月27日（水）13：30～14：35

場 所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 石橋委員 小山委員 松本委員 米倉委員 大賀委員

欠席委員：なし

事務局：清水教育部長 簗原教育総務課長 木部学校教育課長兼主幹指導主事 桐原青少年育成課長 星野文化課長 池見学校給食センター所長 伊丹指導主事 柴田生涯学習推進課 参事補佐 教育総務課庶務係（松尾、民谷）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
  - (1) 教育長報告
  - (2) 教育委員情報交流
    - ・学校給食について
  - (3) 教育委員会報告
    - ・市議会第3回定例会について
4. 議案

番 号	件 名	議決年月日	議決結果
第41号議案	古賀市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	H29.9.27	原案可決

5. 協議事項 なし
6. その他事項
  - (1) 各課（所属）等報告
  - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

### 1. 開会

13時30分、議長が開会を宣言。

今日は午前中から給食センター見学ご苦労様でした。美味しい給食を食べさせていただきました。今日の教育委員交流は学校給食をテーマにしております。後ほど、見学の感想を交えて意見交流していきたいと思っております。

### 2. 教育長あいさつ

・学校給食センター見学への参加ありがとうございました。

### 3. 諸報告

- (1) 教育長報告  
(行事等)

- ・学校は夏休みが明けて約1カ月が経とうとしています。私も各学校を1、2回ずつ訪問しております。平穩に授業が行われており、子どもたちも元気しております。花見小学校の1階と2階がオープン教室になっているが、その間仕切り工事を歴代校長、職員の要望もあり、一般的な教室のように壁を作る工事を行っており、実際に見てきました。授業をされる先生方も隣の音が聞こえないし、つけてよかったということです。特に音楽の授業では、小学校は音楽室を使わずに教室でオルガンなどの楽器を使って行う。話を聞くと、国語をやっているのに隣で音楽をやっているから、国語の授業中に手拍子を打つ子どもがいたりしたということ。今、考えると一見いいようなつくりが集中力を欠くようなことにも働いていたのかなど。予算が許せば、他の学年もつけていこうかと考えております。また舞の里小学校をどうするかということで学校を見て回っております。

## (2) 教育委員情報交流

石橋議長 本日の委員情報交流のテーマは、学校給食についてです。今日、給食センター見学で学校給食の体験もさせていただいたし、設備も見せていただいた。感想を含めて学校給食への意見を聞かせてください。

教育長 資料に年表があります。日本の学校給食の始まりは1889年、明治22年だと言われています。山形県鶴岡町、現在の鶴岡市で寺がやっている私立小学校で始まった。弁当を持ってくるようになっていたが、貧しく家から弁当を持ってこられない子が数多くいた。お寺のお坊さんたちが弁当を持ってこられない子どもたちに、当時はおにぎりや焼き魚とお漬物を出したのが始まりといわれている。これもいわゆる貧困対策。それから資料のような流れで今の給食になっている。現在、表向きは豊かになっているが、ここ2、3年のテレビ報道、新聞報道をみると、一日の食事のうち給食をに頼りにしている子どもたちが経済困窮家庭の中にいる。極端な例では夏休みの間に激やせをしている子どもたちがいる。給食にはひとつは今日見ていただいたようなセンター方式の学校給食がある。近隣では粕屋町がしている。宗像市は以前センター方式だった。古賀市は近隣では小中学校とも一番早いくらいに給食を始めている。当時の市の幹部の方々が子どもたちに同じものを食べさせてあげたいということだったのだろう、以前は東小学校の前に給食センターがあった。平成10年、現在の給食センターに移転した。私は古賀の後、志免町の学校に勤務したが、弁当だった。町長選の時に給食にしてほしいということだったが、町長さんのお考えはおにぎり1個でも親が作る、それが親子の情愛につながるとおっしゃっていたが、今でいうケータリングの弁当が始まり、現在は自校式となった。一気に自校式になったのは篠栗町。本日は自校式であるとか、センター方式であるとかも含めて意見交流していただければと思う。市民の方の中には自校式をという意見もあるが、市長も私も自校式は考えていない。古賀はすばらしいセンター方式でやってもらっていて、事故も起こっていないし、何ら問題ない。花見小学校がセンターから一番遠いので、私も実際に配膳するときに昨年2月の寒い時期に2回見に行った。運び出す時よりは少しは冷めてはいるが、子どもが食べるのにはちょうどいい温かさでした。また、物理的に自校式で施設ができないということがある。用地の関係で花鶴小学校ができない。青柳小学校もできないのではないかと。古賀東小学校ではグラウンドと校舎の間の通路がふさがるので移動ができなくなる。古賀西小学校は昔の踏切に近い方のフェンスが

リギリまでかかって通路がふさがれ、子どもが避難する通路にひっかかる。ほとんどの学校が用地を確保して作ることができない。また、学校に栄養士や調理員を全部配置して、機械を11校つけるということになる。確かに自校式のメリットもあるとは思いますが。今から新規にするなら自校式という手段もあるが、古賀市は福岡県でもいち早くセンター方式を行い、改善に改善を重ねて今の状況がある。県も古賀市のセンター方式はモデルとして見ている。私も国の事業を青柳小学校と小野小学校と古賀東中学校で受け、自校式は赤村の小中学校が、スクールセンター方式は古賀市の2小1中学校が進めるということで2年間研究し、報告をまとめた。食育、給食指導についても、県からは良いモデル地域として古賀市を認めていただいているという実績がある。

石橋議長 自校式のメリットはどういうものがあるのですか。温かいということはあるとは思いますが、  
教育長 よく言われるのは作っている人の顔が見えるということ。古賀の場合は、本日のように給食センター見学をして直接触れる機会を設けている。

松本委員 給食のにおいがしてくるんですね、美味しそうなおいが学校中に。  
教育長 それは中学生にとってはデメリットかもしれません。

石橋議長 見学をしてみてセンター方式の方がメリットがありそうな気がします。これから先、もし自校式に切り替えるのなら、施設設備を考えなくてはいけないし、人件費、衛生面の安全管理を考えなくてはいけない。今日の見学でそう感じました。

米倉委員 新聞報道で弁当に異物が混入したり、美味しくないという問題がでているので、今日はしっかり見たのだが、給食センター方式でこれだけ衛生的に管理されている。自校式ではあそこまで衛生的にはできないのではないかと思う。衛生面、美味しさ、子どもの気持ちの高まりから考えても、古賀でやっている給食センター方式の方がいいと思いました。何かあっても、管理が一括でできる。それが一番いいと思いました。

小山委員 センターが積極的に行ってくれているから、今日のように見学に子どもたちが行って、栄養士さんや調理師さんなどの話を聞いたり、触れ合うことができる。子どもに対してだけではなく、保護者に対しても企画をされているのはいいことだと思っている。保護者としては仕事をもっていたり、もちたいと思っている方、経済的に負担の大きい家庭にとっては、給食はすごくありがたいもの。どういうふうに給食が行われているのかを発信してほしいということは保護者も思っているのではないかと思う。現在も給食センターの情報を発信されているから、興味のある方はアクセスされると思う。

松本委員 私は福岡市で自校式の学校に勤務していた。朝は給食室からいいにおいができて、1年生などは給食の調理員さんに声をかけ、また残さないように食べようねというような、食育のようなことが学校の中でできていた。古賀市では給食センター方式で、以前給食を食べさせてもらうこともあり美味しい給食だと思っていた。今日初めて見学させてもらったが、子どもたちにとってはいい体験だと思う。多分、今日の給食は食缶が空<sup>から</sup>になっていたのではないかと思うが、給食センターがやってくれていることは子どもたちの心や体を育てるのにもすごくいいこと。きれいに、清潔に、細かなことにも気を配ってされていることが今日はよく分かった。自校式がいいとおっしゃっている方々にはぜひ

見学に行ってほしいと思います。古賀では自校式でできることがセンターでできていると実感しました。

大賀委員 資料を読んで、全国で給食がない小学校が0.2%くらい、中学校で24%ある中で、古賀の子どもたちは恵まれているなと思いました。ニュースで給食が温かくない弁当の学校があることを知りました。古賀市は地産地消、しかも温かいものは温かく、冷たいものは冷たくと美味しさにもこだわった給食が提供されていることは本当にありがたいことだと思う。今日見学させてもらって、子どもたちの安全安心のために本当にいろいろ考えてくださっていることがわかり、保護者としても安心を感じた。見学の子どもたちにも食育を通じて給食への想いが変わると思う。今日のような見学の取組はいい取組をされていると思います。センター方式を見学させてもらい、十分満足だと感じています。

石橋議長 11校だからひとつのセンターでできていると思う。古賀はちょうどいい規模だと思う。今日、所長からもいろいろ話を聞いたが、作っている方々、29人の調理員の方がひとつになり、子どもたちのために、子どもたちに美味しいものを提供するんだ、安全なものを提供するんだという意識が高いなと感じた。だからこそ、食器にしても調理器具にしてもきちんと洗浄されている、安全に子どもたちに給食を届けることができていると感じた。義務制の9年間の中で、1回でもいいから、給食センターで調理員の話の聞いたり、実際に動いている様子を見たりすると、給食のありがたさや意識が高まっていくと思う。非常にいいことをされていると思う。文部科学省の表彰を受賞されていたが、改めて感謝したいなと思います。最後に、学校給食がいいのか、弁当がいいのかということについて、また中学校の給食についてはどう思われますか。

松本委員 やはり給食がいいのではないかと。栄養のバランスを考えると、発育盛りなので。どうしても中学生は好きな物しか食べないことが多いから給食がいいと思います。

米倉委員 私は現職の時は弁当派でした。給食のところにも2町勤めていた。もちろんどちらもいいところがあるのですが、最近、子どもの貧困のことを考えると、弁当よりも給食かなと思っている。教育無償化というけれど教育費以外にもいろいろお金はかかる。給食費をゼロにするのが一番均等になるような気がしている。貧困を考えると、給食費から無償化して、随時他にかかる分について無償化していく方が高等教育を無償化するよりいいのではないかと考えています。

教育長 私も米倉委員と同じ考えで、0歳から15歳までは基本無償にするのがいいのかなと思っている。中学校を卒業して納税者になられる方、高等学校を卒業して納税者になられる方、一時期こういう方たちのインタビュー記事が載っていた。授業料だけでも国が出してくれれば、行けるという方が増えるということも事実だろうが、義務教育だから国が責任を持ち、服さえ来て行けば、食べるものも、授業も、辞書は買わなくても図書館に、ということでやっていけば、高校に行くとか大学に行くということはその15年間の間に毎日100円貯金をするということもできる。そういうことも教育なのではないかなと思っている。35人以下学級も国が定数法でやっていけば古賀市が単独で4000万円を使わなくても済むわけです。給食費もそうです。

石橋議長 教育長がおっしゃったようなことがつながっていけば、義務制の中ではほとんどお金がかからなくなる。そうなれば平等になるのかなと思います。以上で情報交流は終わります。

### (3) 教育委員会報告

石橋議長 教育委員会報告をお願いします。

教育部長 昨日閉会しました、古賀市議会第3回定例会の報告をします。今回の議会において、教育部からの提案はございませんでした。一般質問の教育部に関連する部分だけ、ご報告させていただきます。まず、伊東議員から、化学物質から子どもの健康を守るためにと題して質問がっております。本市においては、学校を通じてアレルギー疾患実態調査が行われており、アレルギー疾患や食物アレルギー、さらにインクアレルギー等を持つ子どもを調査し把握をしておりますが、化学アレルギーの発症報告はあっておりません。また、国の示す学校環境衛生基準に基づいた、化学物質の濃度等の調査を行い、基準以下であることを確認しております。害虫発生時に行う薬剤散布については、害虫による被害をいち早く防止するため、緊急的に行うことが多く、児童へは担任を通じて散布を知らせ近づかないようにしております。薬剤散布の実施規程の策定は行わないのかとのご質問については、策定の予定はないと回答しております。なお、保護者へのお知らせについては、今後、安心メールを使って行うなど検討したいと考えております。また、フッ化物洗口については、各学校の実態を基にその必要性を判断したうえで、学校ごとに実施するか否かを決めておりますことから、これまでも、また今後も教育委員会から実施をお願いするようなことはしないということの答弁をさせていただいております。

古賀議員から、古賀の浜で発生した海難事故は防止できなかったのかと題して質問がございました。教育長に対しては、小中学校に対して安全指導がなされてきたのかとのご質問がありました。本市では、夏休みに入る前に各学校で守るべき約束事を決め、児童生徒と保護者に毎年指導・お知らせを行っております。古賀の浜、特に今回事故のあった箇所がどうであるということだけでなく、川であったり池や堤であったりと危険と思われる個所はどこでも存在しますし、交通事故に気を付けることも必要です。また、近所の川や海というよりも、普段は行くことのないところでの事故を耳にすることが多くございます。どこであっても自らの安全を確保するために決まりを守る子どもを育成する教育を行っているとの答弁をさせていただいております。

吉住議員からは、公文書保存活用の向上をと題した質問の中で、教育長に対しては、民間が持つ地域史料等の収集や保存活用についてのご質問がありました。現在文化課で資料収集を行っております、市史編さん事業にも活かしていきたいと答弁させていただいております。また、図書館においても郷土・行政資料を収集しており、市民に貸し出しや閲覧を行っているところです。議員からは、熊本県天草市では行政から発した文書をアーカイブ資料としてすべて保存しているとのことで、古賀市でも同様にすべての文書を保存すべきではとのご意見がございました。何もかもを保存するわけにはいかないが、法令を踏まえながら天草の規程を参考にして資料収集に当たりたいと答弁して

おります。

阿部議員からは、社会教育に関する質問として、今こそ社会教育の充実をと題して質問がなされました。これに対して、第2次古賀市生涯学習基本計画に基づいて関係団体や学校教育と社会教育との連携を図るなど、活発に行われている現状についてご答弁いただいております。今回、阿部議員は、2件のご質問をされておりますが、別の1件に集中されまして社会教育の質問は持ち時間に収まり切れず不十分に感じておられたようで、次回再度質問をしたいとのことでした。なお、質問項目の中で、教育委員と社会教育委員の意見交換についてのご質問があつておりましたが、直接的な意見交換は行っておりませんので、今後そのような場を設けることについて検討したいと思っております。

最後に村松議員からは、人口構成・人口動態から見る古賀市の課題と題して質問がありました。教育長に対しては、古賀市の行っている、日本一通いたい・通わせたい学校、この取組が子育て世代の転入に大きな要素となっていると思われるが、今後さらにどう進めていくかということでした。これに対して市長は、少人数学級等人的配置については、踏ん張って堅持していきたいとの回答でした。また、教育長も人的配置の維持とともに学習環境の充実を図り、市外へのアピールとして現在行っているフェイスブック等を活用して情報発信に力を入れていきたいと回答をされましたが、教育長個人に対してラインの利用等に関する質問については、利用はするつもりはないとの回答をされております。以上が、第3回定例会で一般質問の概略でございます。

#### 4. 議案

石橋議長 第41号議案、古賀市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について、提案をお願いしたい。

学校教育課長 (議案朗読)

8、10ページ、改正に伴い様式の追加、変更をしております。12ページ新旧対象条文をご覧ください。前々年度の収入で算定することとし、申請を2月初めから3月の初めにかけて受付し、4月の入学式が終わってすぐに支給を行うため、規則の一部を改正することとしたい。ご審議よろしく申し上げます。

石橋議長 何かご意見はありますか。なければ議決することとしたい。

《第41号議案 原案可決》

#### 5. 協議事項 なし

#### 6. その他事項

##### (1) 各課(所属)報告

##### ア、教育部長

- ・11月14日11時から、国の指示によりJアラートの訓練を実施予定とのこと。校長会でも連絡しております。総務課に確認したのだが、もしJアラートがなった場合、ガ

ラス等から離れ頭をふせた態勢をとるということになるが、学校の場合、外側に窓があり、廊下側にも窓があるのでそれに対しても警戒をするようにということでした。教室では壁に近いところに避難してほしいということで、校長会で連絡しております。

石橋議長 放送やサイレンが鳴るのですか。

教育部長 各地にある防災無線が鳴ったり、携帯電話にも情報が流れるなどいろいろな方法で行われます。

#### イ、教育総務課 なし

#### ウ、学校教育課

- ・不登校児童生徒数ですが、昨年8月と変わらない状況です。中1不登校生徒数についても先月と変わっておりません。
- ・16ページをご覧ください。舞の里小学校、青柳小学校の学校訪問が近づいておりますので概要をお知らせします。特色ある教育活動の参観となり、意見交換、指導助言の時間が40分間となります。舞の里小学校が9月28日午後です。4年生のボランティア感謝の会という、総合的な学習の時間の1コマを参観いただく。校長から他学年の学習も参観いただきたいとのことです。青柳小学校は10月5日、6年生の総合的な学習の時間でキャラバン交流会の練習を参観いただきます。
- ・古賀東中学校、花見小学校の研究発表会については案内を配布しております。
- ・全国学力・学習状況調査結果について。概要として、小学校では、全教科区分で全国平均を上回っており、中学校では、国語の合計平均正答率は全国平均を上回っています。数学は全国平均を若干下回っているが、改善に向けて努力を行っているところです。今後も学力向上推進会議が年3回ございますので、その内容を充実させていくこと、それぞれの学校での取組を強化しながら授業改善やカリキュラムマネジメントの充実につなげていきたいと考えております。
- ・18ページ、小中学校フェスタの日程をお知らせしております。
- ・教職員の研修状況は記載のとおりです。
- ・前期終業式が10月6日、後期始業式が10月10日となります。

石橋議長 学校訪問が明日から始まります。委員の皆さん、よろしく申し上げます。

#### エ、生涯学習推進課

- ・10月15日、第7回市民健康スポーツの日を古賀中学校グラウンドで実施します。ご参加よろしく申し上げます。

#### オ、文化課

- ・ぬりつなぎ計画のチラシをご覧ください。10年以上前に市が市内のいろいろな箇所の壁に絵を描いております。小学生、中学生、高校生、市民の方の協力により描いていたものです。かなり老朽化してきたということで、NPO エコけんが主催となり描き替えを

4か所していただくということで、市としてもありがたく思っております。①古賀中学校アンダーパスで古賀中学校の通学路のところ、②久保石原アンダーパス、これは古賀東小学校、古賀中学校の通学路です。③こがめルーム、④中央公民館別棟の塗り替えが行われます。現在、下塗りを行っているところです。市民参加で絵を一緒に描く日を設けており、9月30日から10月14日まで予約制だが市民の方のお力を得ながら古賀市をきれいにしていきたいという企画を文化課としても応援しております。

#### カ、青少年育成課

- ・現在、通学合宿を地域のボランティアと青少年育成課が協働して行っております。9月23日から9月27日まで、西小校区の通学合宿を鹿部公民館で実施し、14名の子どもたちが参加しております。10月1日から10月7日には小野小校区で実施されます。

#### キ、給食センター

- ・本日は古賀西小学校の児童と一緒に見学、その後、試食をしていただきました。今後も安心安全な給食を作るということ、また美味しい給食を提供していきたいと考えております。
- ・10月2日、3日は市制20周年記念献立を実施します。詳細は市ホームページの給食センターのページに掲載しております。20年前の市制施行時に人気だったメニューを給食で提供します。

#### (2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (11月定例教育委員会の日程調整)

石橋議長 11月定例教育委員会は11月22日13時30分とする。

#### 7. 閉会

議長が閉会を宣言し、14時35分閉会した。